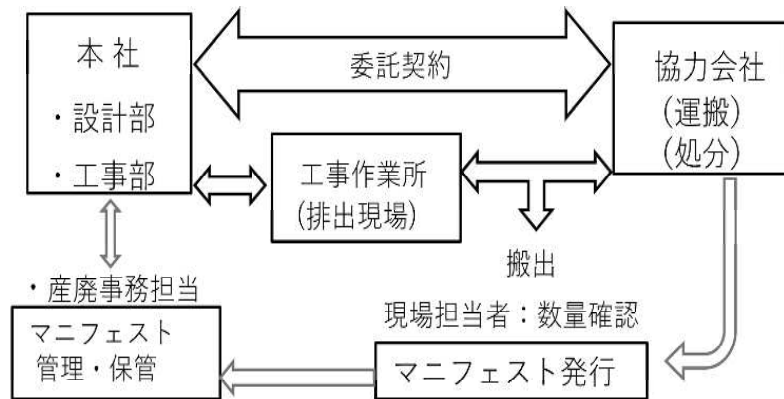


(第1面)

産業廃棄物処理計画書 2025年 6月 30日 愛知県知事 殿 提出者 住 所 東京都港区北青山1-3-6 SIビル青山3F 氏 名 ランドソリューション株式会社 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 代表取締役社長 岡田 耕治 電話番号 03-5412-6700 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	旧西枇杷島工場 地中基礎撤去工事
事業場の所在地	愛知県清須市西枇杷島町泉48番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	990,000,000円
③従業員数	10
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・コンガラ→破碎し再生アスコン・再生路盤材として再資源化 ・建設汚泥→焼却・焼成しセメント原料として再生 ・建設系混合廃棄物(管理型)→焼却・焼成しセメント原料化・燃料として再利用、または破碎し埋立 ・廃プラスチック類→破碎、押出成型し再利用、

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 末尾別紙参照 (第2面別紙①)

①現状

【前年度（6年度）実績】

産業廃棄物の種類

排 出 量

t

tt

②計画

【目標】

産業

排 出 量

t

(今後実施する予定の取組)

末尾別紙参照
(第2面別紙①)

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	tt
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 末尾別紙参照（第4面後半・第5面 別紙②③）

①現	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t

末尾別紙参照
(第4面後半・第5面 別紙②)

①現	末尾別紙参照 (第 4 面後半・第 5 面 別紙②)			t
				t
				t
				t
	熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			

②計	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への	t	t
	末尾別紙参照 (第 4 面後半・第 5 面 別紙③)		t
			t
	熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第2面 別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
	①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設汚泥
		排 出 量	1,784.3 t	23 t
		・建設汚泥は、貯留槽に一次貯留し上水を処理後、残りを汚泥処理した。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設汚泥
		排 出 量	500 t	0 t
		(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項				
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
	①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	アス・コンクリート破片	混合廃棄物
		排 出 量	15.1 t	13t
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	アス・コンクリート破片	混合廃棄物
		排 出 量	50 t	5.2t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
	①現状	【前年度（ 6年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	がれき類 木くず
		排 出 量	0 t 0t
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	がれき類 木くず
		排 出 量	450 t 20m3
		(今後実施する予定の取組)	

第4面後半・第5面 別紙②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設汚泥
	全 処 理 委 託 量	1,784.32 t	23 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,784.32 t	23 t
	（これまでに実施した取組） 再生への取り組みを強化している業者を選定し委託している		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アス・コンクリート破片	混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	15.1 t	13t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	13 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	15.1 t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	0 t	0t

第4面後半・第5面 別紙③

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設汚泥
		全 処 理 委 託 量	500 t	0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	500 t	0 t
	②計画	【前年度（ 6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	アス・コンクリート破片	混合廃棄物
		全 処 理 委 託 量	50 t	5
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	5 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	50 t	t
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
		全 処 理 委 託 量	450 t	6t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	450 t	6t
		（今後実施する予定の取組） 今後も再生への取り組みを強化している業者を選定し委託していく		
※事務処理欄				